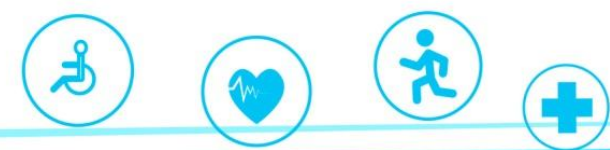


開催日：2026年7月24日



東証スタンダード市場
証券コード 9265



2026年5月期 決算説明会

連結累計期間：2025年6月1日～2026年5月31日

地域のヘルスケアに貢献する





【会社概要】



会 社 名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本 社 所 在 地	福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル10階
資 本 金	4億9,402万5,000円
事 業 内 容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業 会社8社の経営管理、およびそれに付帯する業務
代 表 者	代表取締役 執行役員 社長 山下尚登
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9265
決 算 期	5月

『地域のヘルスケアに貢献する』

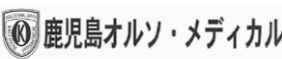
当社グループの使命は、ヘルスケア領域に関わる一員として、医療が安心・安全に、患者様や要介護者などへ届けられるよう、お客様である医療機関をはじめとするヘルスケア業界をサポートすることです。当社グループは、「専門性」と「総合性」を兼ね備えたヘルスケアサポート企業となり、地域のヘルスケアの発展に貢献します。



【グループ事業会社概要】



〔注〕2025年10月31日付で株式会社イーディライトの全株式を譲渡いたしました。
これに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

	山下医科器械株式会社	医療機器卸売/医療IT/設備設計・施工・メンテナンス/消耗品管理・物流
	株式会社イーピーメディック	医療器具製造・販売/整形外科インプラントの製造・販売
	株式会社トムス	医療機器卸売/透析関連機器メンテナンス/画像診断機器販売
	株式会社アシスト・メディコ	経営・事業承継支援/医療介護に関するコンサルティング/セミナー開催
	エムディーエックス株式会社	RPA・DX技術関連製品・サービスの提供/介護施設、在宅向け製品販売等
	株式会社クロスウェブ	ネットワーク構築/ソフトウェア受託開発/システム保守サービス
	株式会社鹿児島オルソ・メディカル	整形外科分野に特化した医療機器販売/関連消耗品の販売
	マイクロソニック株式会社	超音波に関する研究開発/超音波を用いた医療機器の開発・販売



【グループ事業会社概要】



➤ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社

〔福岡県〕 本社

〔広島県〕 東手城ヘルスケアモール

➤山下医科器械株式会社

〔福岡県〕 福岡本社/福岡支社/福岡西営業所
/北九州支社/筑後支社/筑豊営業所
/大牟田営業所/メディプラザ

〔佐賀県〕 佐賀支社/武雄営業所/唐津営業所
/TMSセンター/鳥栖物流センター
/鳥栖SPDセンター

〔長崎県〕 佐世保本社/佐世保支社/長崎支社
/長崎中央営業所/島原営業所/五島営業所
/対馬営業所/長崎物流センター

〔熊本県〕 熊本支社/八代営業所/天草連絡所

〔大分県〕 大分支社/中津連絡所

〔宮崎県〕 宮崎営業所

〔鹿児島県〕 鹿児島支社/奄美連絡所

➤株式会社イーピーメディック

〔福岡県〕 本社

➤株式会社トムス

〔福岡県〕 本社/福岡営業所/北九州営業所

〔熊本県〕 熊本営業所

〔鹿児島県〕 鹿児島営業所

〔広島県〕 中国営業所

➤株式会社アシスト・メディコ

〔福岡県〕 本社

➤エムディーエックス株式会社

〔福岡県〕 本社

〔東京都〕 東京オフィス

➤株式会社クロスウェブ

〔福岡県〕 本社

➤株式会社鹿児島オルソ・メディカル

〔鹿児島県〕 本社/鹿屋営業所

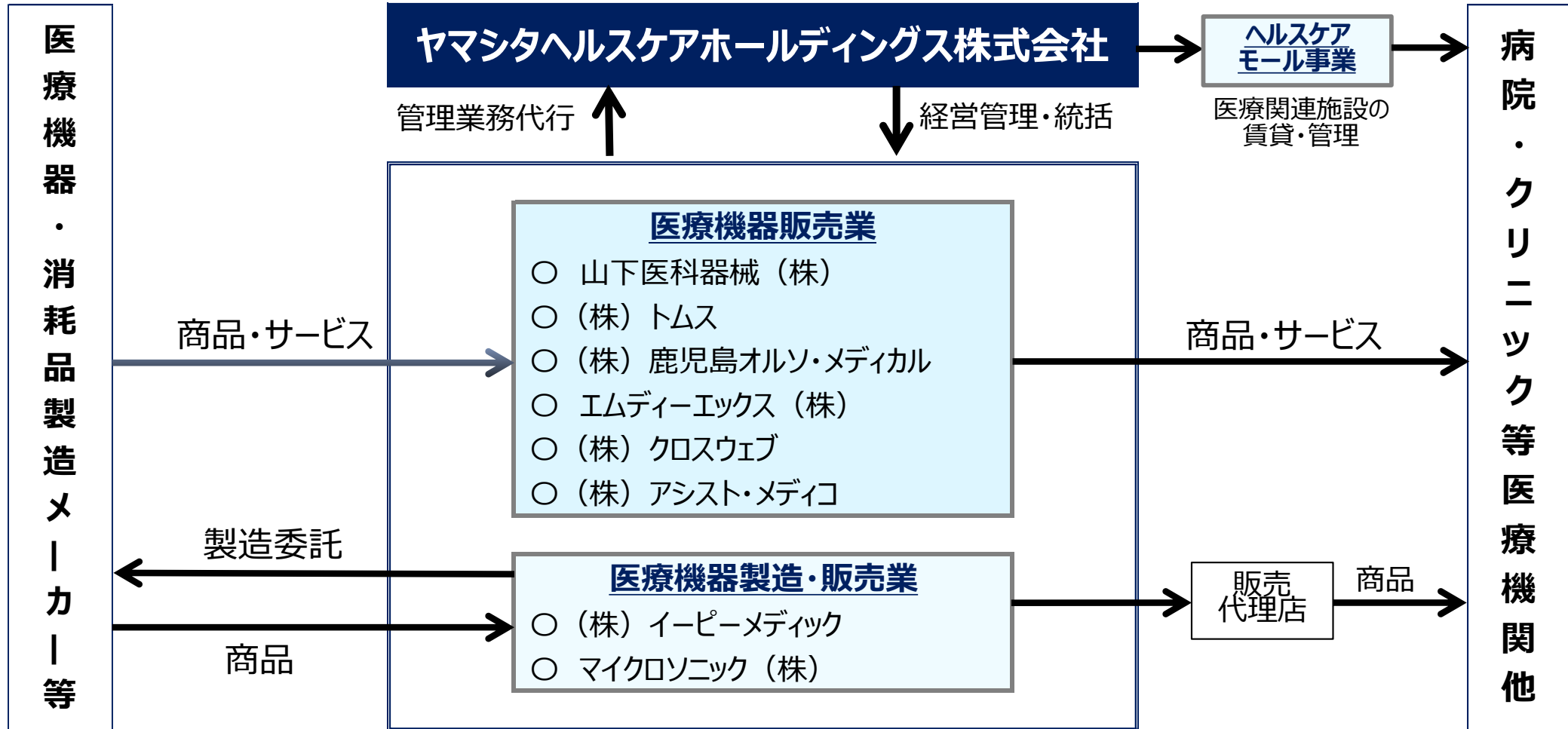
➤マイクロソニック株式会社

〔東京都〕 本社





【グループ事業会社系統】





1. 2026年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 今期の見通し

5. 長期ビジョン及び企業価値向上施策

6. 当社グループに関するご案内



【通期 連結業績（2026年5月期）】



売上高は前期比微減、また給与や求人関連費といった人件費、物流コストや支払い手数料等の増加により、営業利益および経常利益は減益。

(単位：百万円)

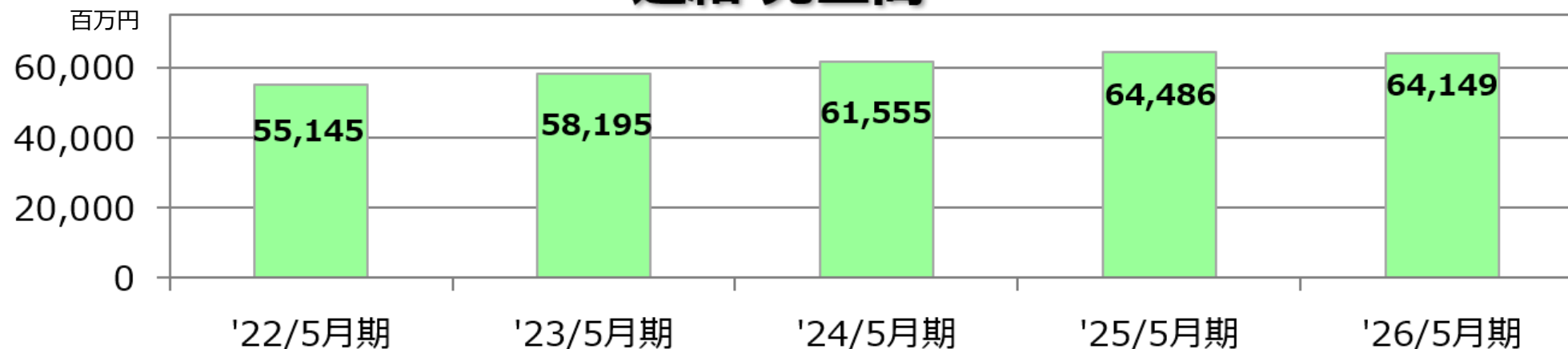
通期連結業績	2025年5月期	2026年5月期	増減額	前年同期比
売上高	64,486	64,149	△ 337	99.5%
売上総利益	8,777	8,800	23	100.2%
販売費及び一般管理費	7,938	8,062	124	101.5%
営業利益	838	737	△ 101	87.9%
経常利益	909	877	△ 32	96.5%
当期純利益	616	648	32	104.9%



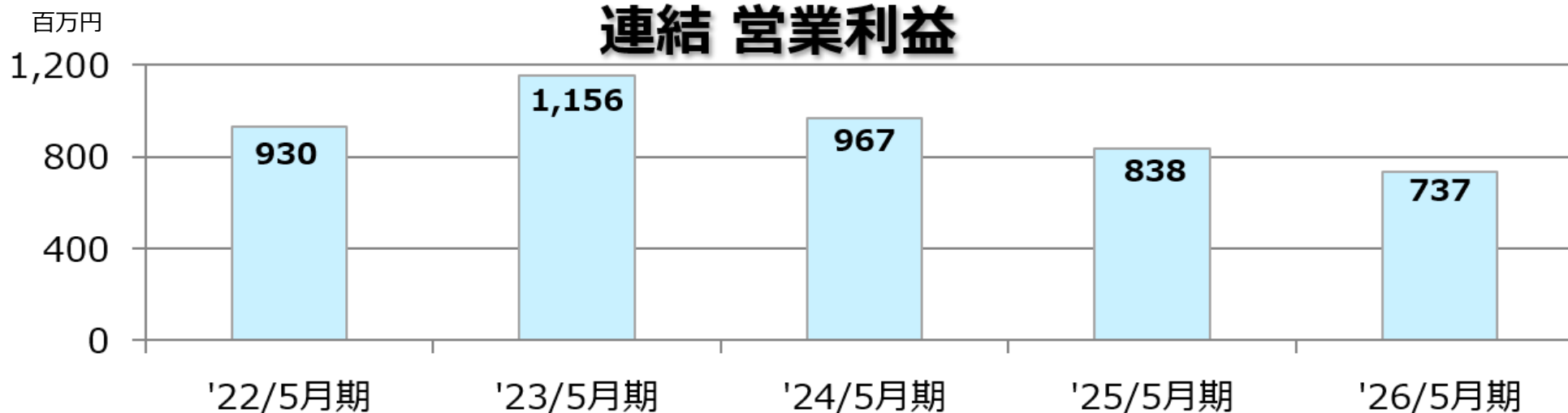
【連結売上高・連結営業利益推移（2026年5月期）】



連結 売上高



連結 営業利益

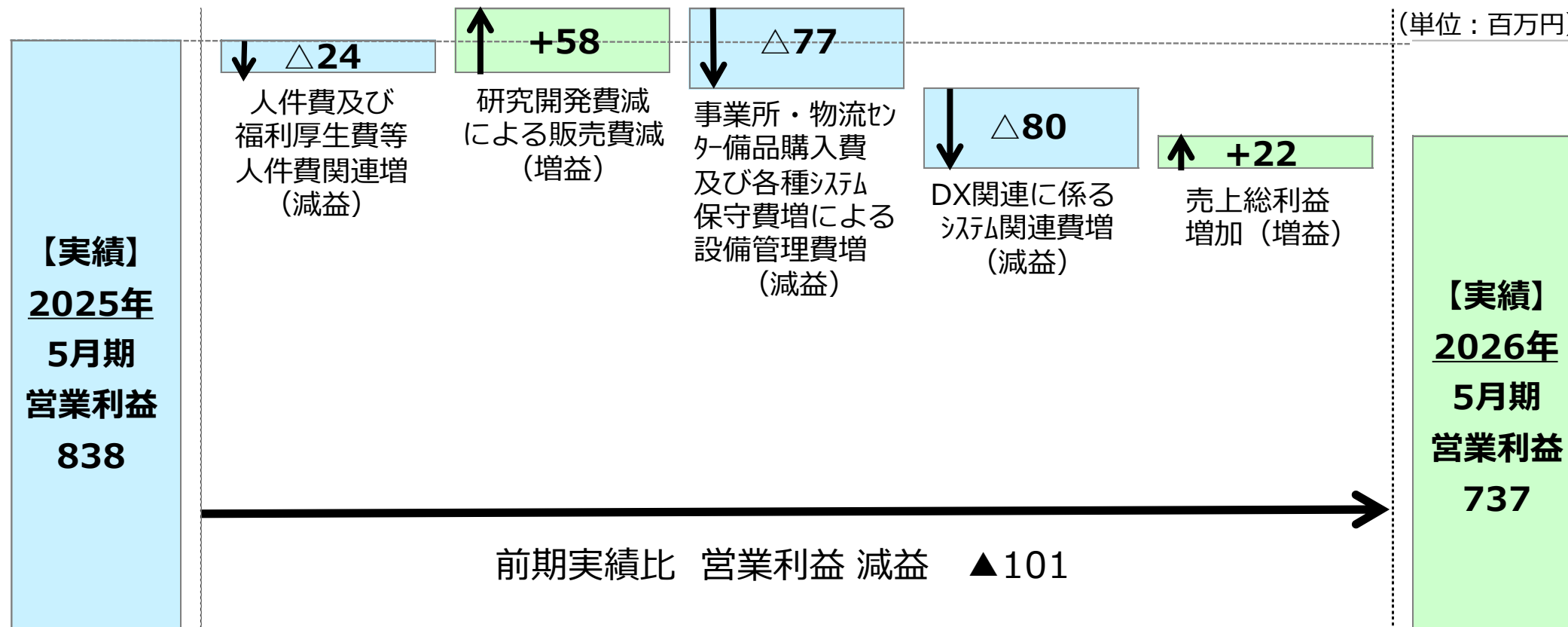




【営業利益差異分析（2026年5月期）】



➤ 前期比 営業利益 減益の要因

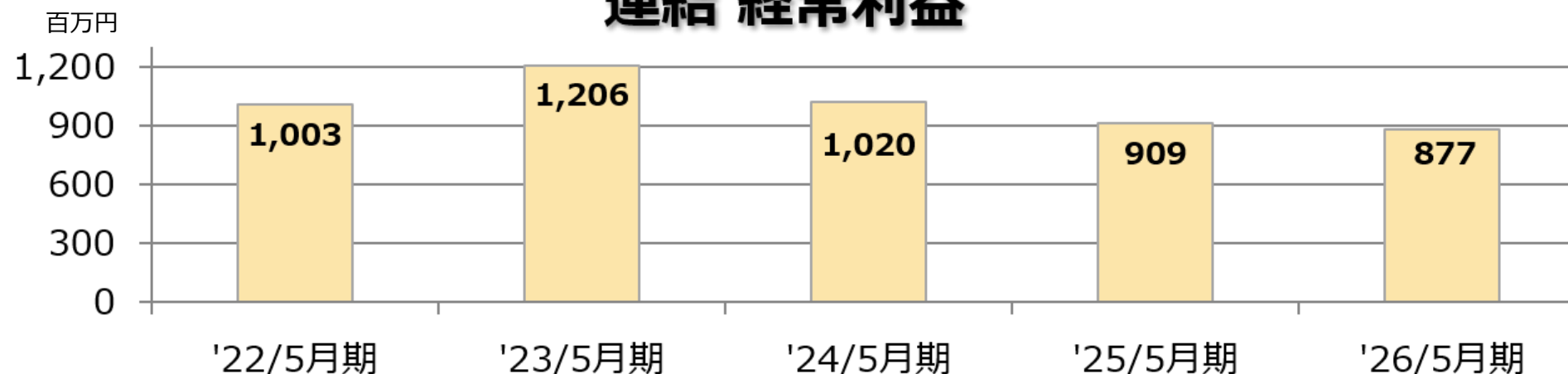




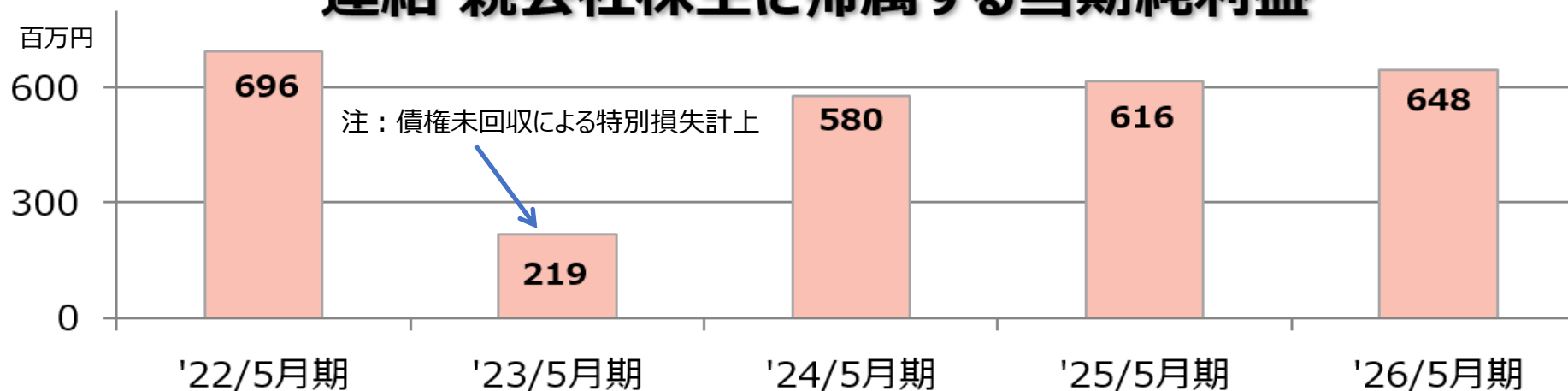
【連結経常利益・連結当期純利益推移（2026年5月期）】



連結 経常利益



連結 親会社株主に帰属する当期純利益

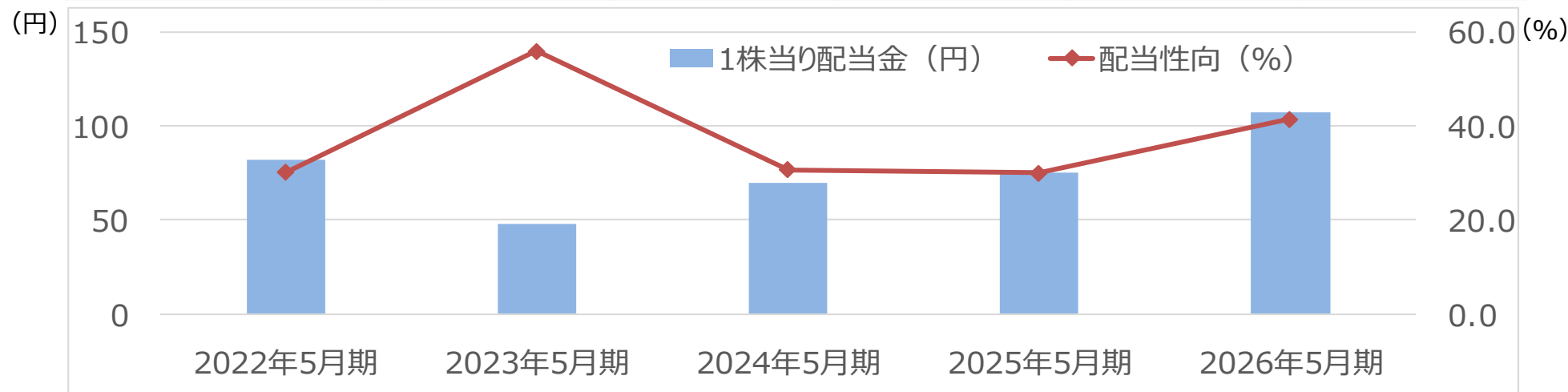




配当金

※2026年5月期の配当額は、当社配当水準である30%を基準とした普通配当77円に加えて、山下医科器械株式会社の創業100周年の記念配当30円を加えた107円を1株配当額として設定しております。

配当性向	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期
1株当り配当金 (円)	82	48	70	75	107 ※
営業利益 (百万円)	930	1,156	967	838	737
当期純利益 (百万円)	696	219	580	616	648
配当性向 (%)	30.1	55.9	30.7	30.0	41.4



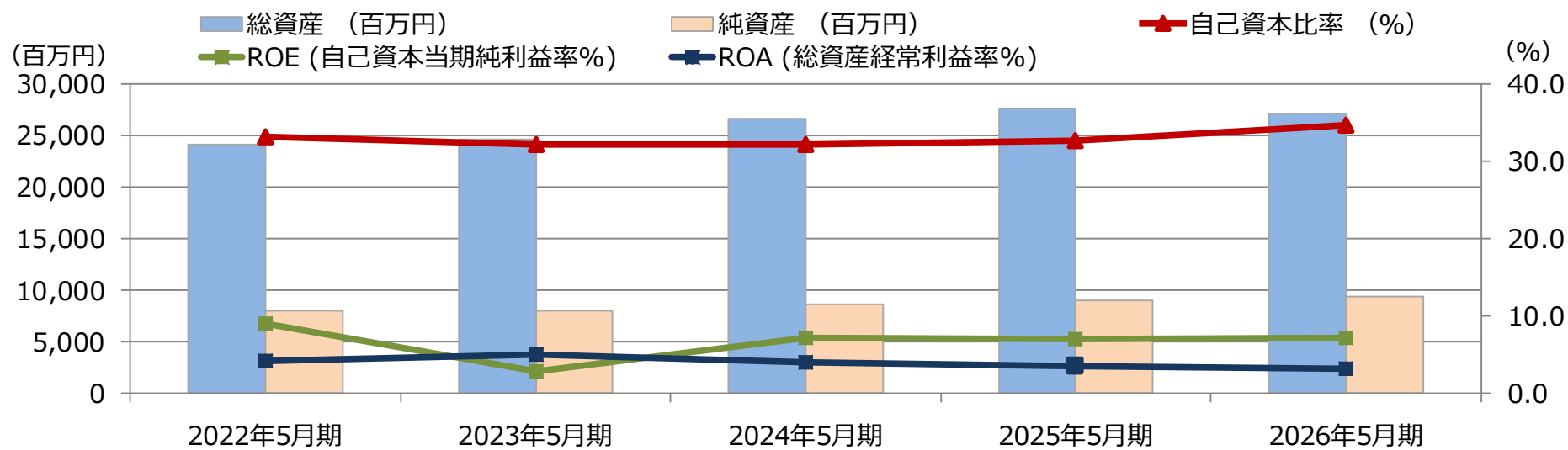


【連結貸借対照表（2026年5月期）】



連結貸借対照表推移

連結貸借対照表推移	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期
総資産（百万円）	24,086	24,568	26,557	27,549	27,089
純資産（百万円）	8,005	7,924	8,556	8,988	9,360
自己資本比率（%）	33.1	32.2	32.2	32.6	34.6
ROE（自己資本当期純利益率%）	8.9	2.8	7.1	7.0	7.1
ROA（総資産経常利益率%）	4.1	5.0	4.0	3.4	3.2





1. 2026年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 今期の見通し

5. 長期ビジョン及び企業価値向上施策

6. 当社グループに関するご案内



【事業分野別の販売実績】



各セグメント業績

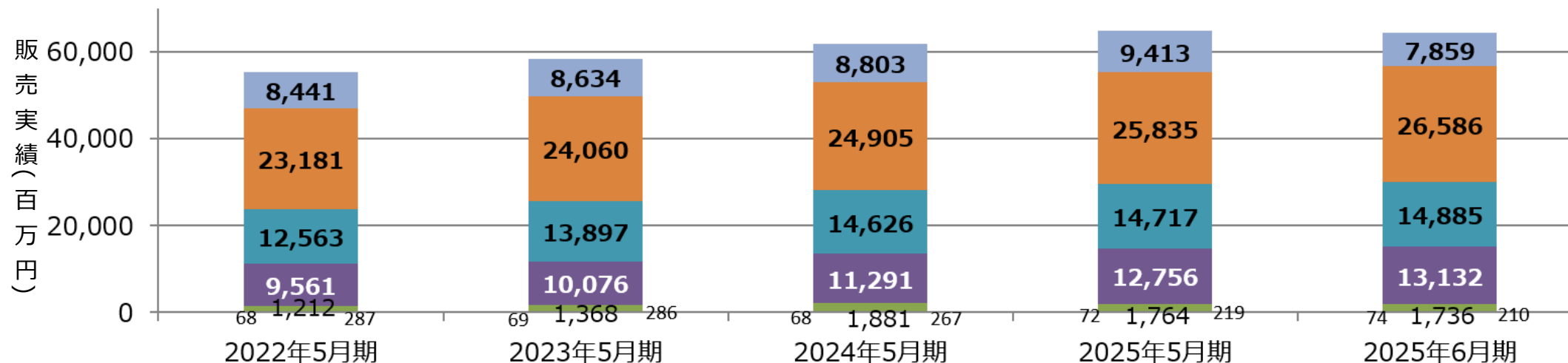
セグメント区分		2025年5月期 連結累計期間		2026年5月期 連結累計期間		増減額 (百万円)	前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
① 医療機器販売業	一般機器分野	9,413	14.6%	7,859	12.2%	△ 1,553	83.5%
	一般消耗品分野	25,835	40.1%	26,586	41.4%	750	102.9%
	低侵襲治療分野	14,717	22.8%	14,885	23.2%	167	101.1%
	専門分野	12,756	19.8%	13,132	20.5%	376	102.9%
	情報・サービス分野	1,764	2.7%	1,736	2.7%	△ 28	98.4%
	小計	64,487	100.0%	64,201	100.0%	△ 286	99.6%
② 医療機器・製造販売業		219	0.3%	210	0.3%	△ 9	95.6%
③ ヘルスケアモール事業		72	0.1%	74	0.1%	2	101.6%
④ セグメント間取引		△ 292	△ 0.4%	△ 336	△ 0.4%	△ 44	—
合計 ①+②+③+④		64,486	100.0%	64,149	100.0%	△ 337	99.5%

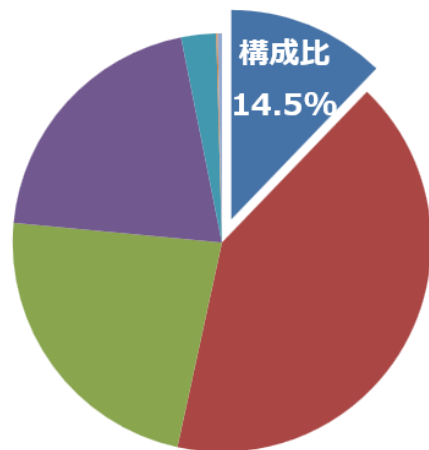


【各事業分野別販売実績】



- 一般機器分野：治療用機器、CT、MRI、モニタリング 等
- 一般消耗品分野：手術用医療材料、輸液・輸血関連、医療用消耗品 等
- 低侵襲治療分野：内視鏡本体、IVE、消化器用・血管内治療用カテーテル・ステント 等
- 専門分野：人工関節類、検査機器、眼科備品、皮膚・形成備品、透析関連品 等
- 情報・サービス分野：医療ガス、設備工事、医療廃棄物収集、医療用ICT機器、メンテナンス 等
- 医療機器製造・販売業：整形外科用インプラント製造販売（グループ開発製品）
- ヘルスケアモール事業：運営医療モール賃料収入



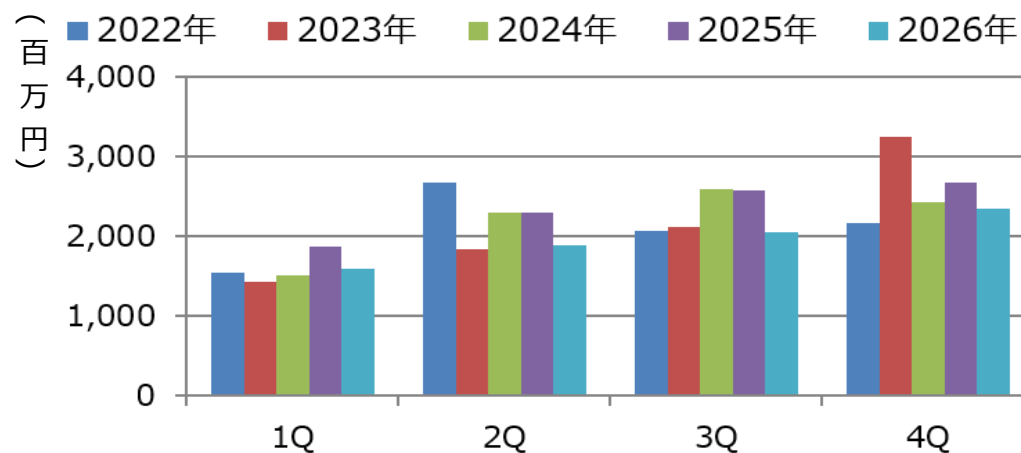


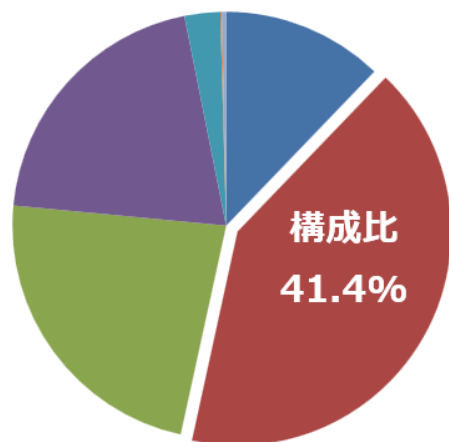
【一般機器分野】

- 売上高： 78億 59百万円
- 前期比： 16.5%減

放射線機器や画像診断機器等の設備投資需要が前年同期を下回ったことによる前期比減（代理人取引の増加）

■ 一般機器の売上高推移（四半期別）



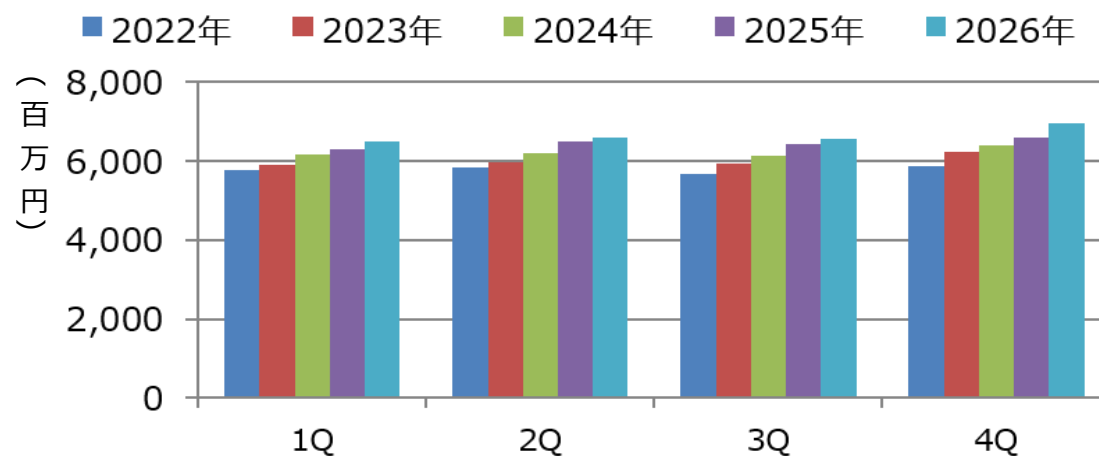


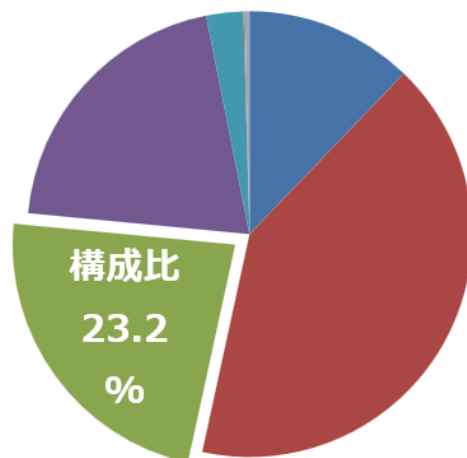
【一般消耗品分野】

- 売上高： 265億 86百万円
- 前期比： 2.9%増加

検査・手術件数の増加やSPD契約施設増により診療材料等の医療機器消耗品の販売が堅調に増加

■ 一般消耗品の売上高推移（四半期別）



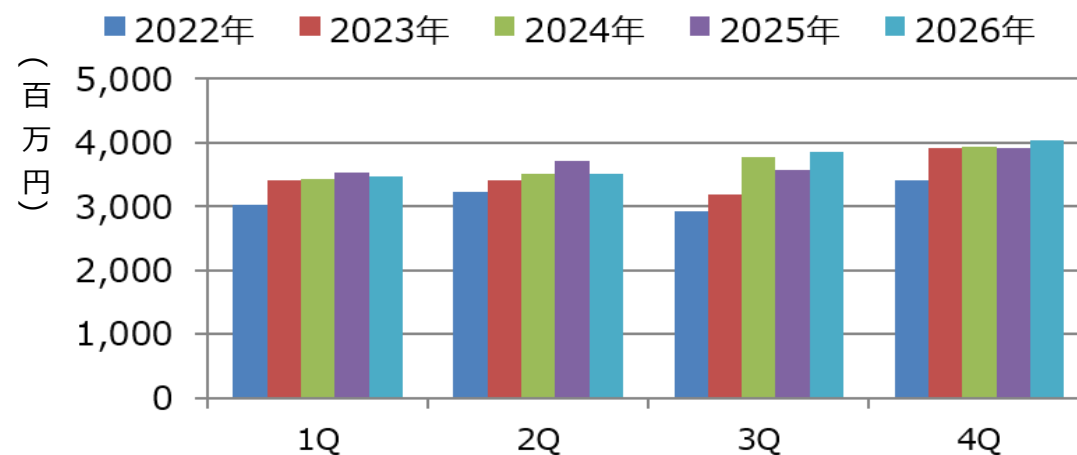


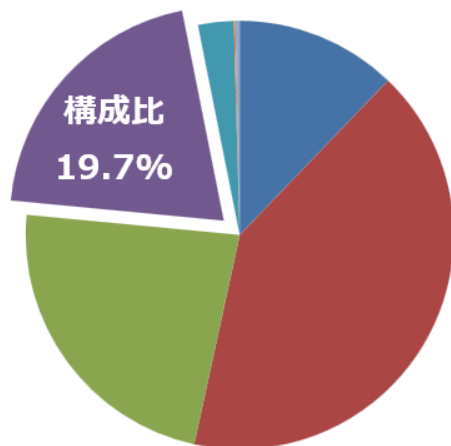
【低侵襲治療分野】

- 売上高： 148億 85百万円
- 前期比： 1.1%増

電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療等の売上増加

■ 低侵襲治療分野の売上高推移（四半期別）



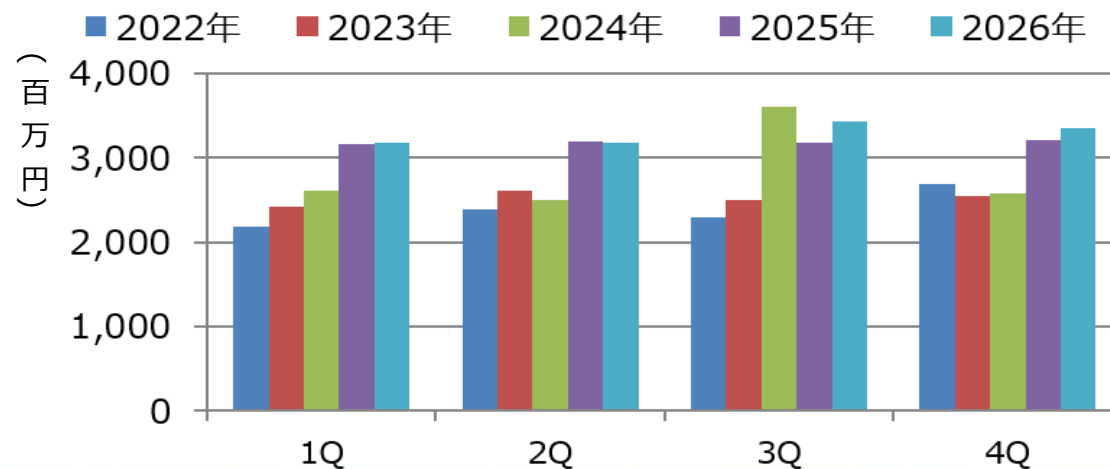


【専門分野】

- 売上高： 131億 32百万円
- 前期比： 2.9%増

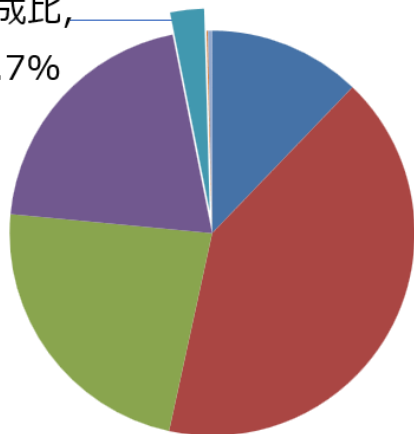
主に透析分野（事業会社トムス）の売上増による

■ 専門分野の売上高推移（四半期別）





構成比,
2.7%



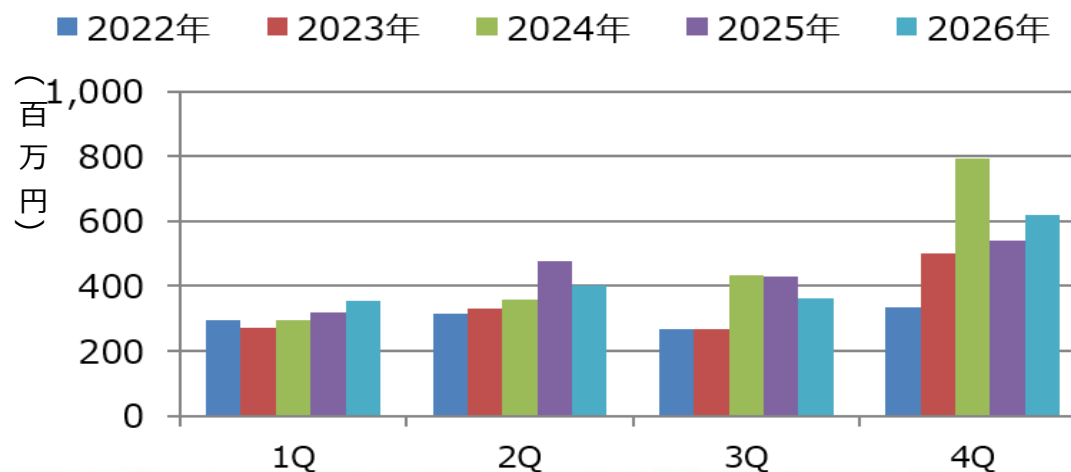
【情報・サービス分野】

■ 売上高： 17億 36百万円

■ 前期比： 1.6%減

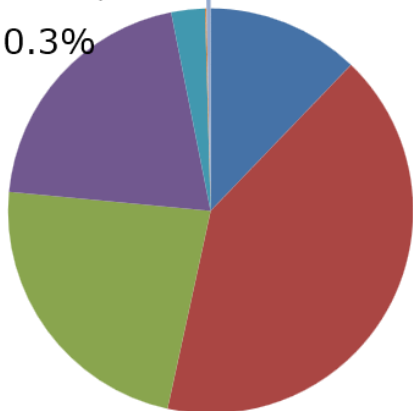
医療ガス設備工事や電子カルテシステム等の医療用IT
備品等の件数微減による売上減

■ 情報・サービス分野の売上高推移（四半期別）





構成比,
0.3%



【医療機器製造・販売業】

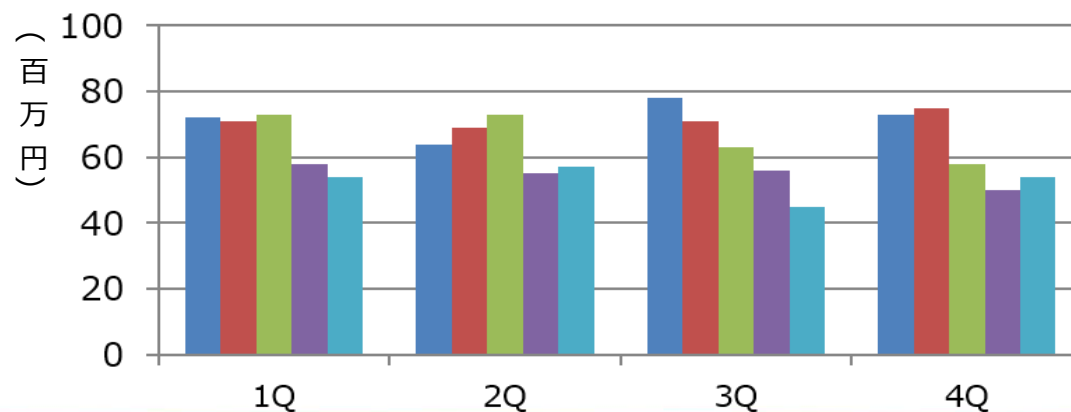
■ 売上高： 2億 10百万円

■ 前期比： 4.4%減

グループ開発製品である整形外科用インプラントの
販売不振による

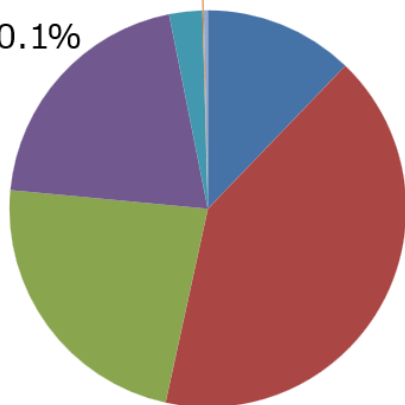
■ 医療機器製造・販売業の売上高推移（四半期別）

■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年 ■ 2025年 ■ 2026年





構成比
0.1%

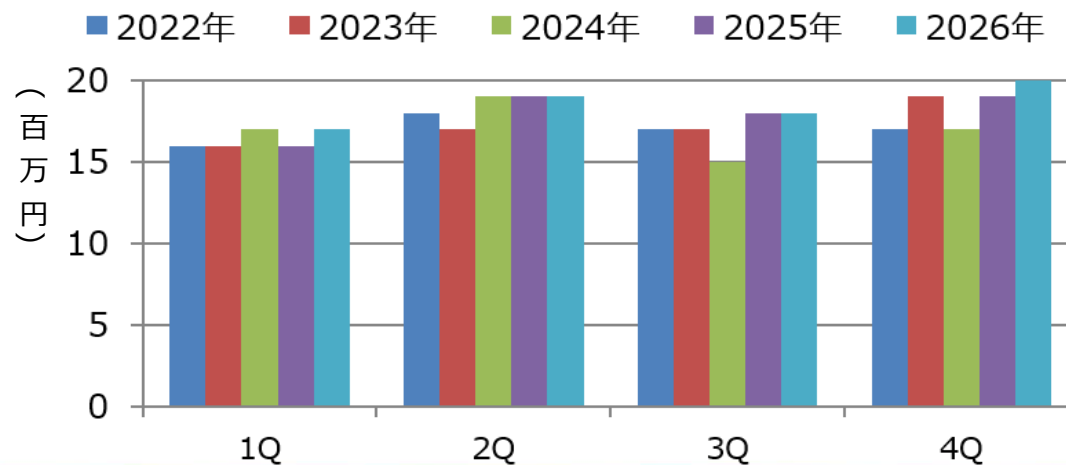


【ヘルスケアモール事業】

- 売上高： 74百万円
- 前期比： 1.6%増

東手城ヘルスケアモール（広島県福山市）運営
による賃料収入が安定化したことによる

■ヘルスケアモール事業の売上高推移（四半期別）





1. 2026年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
- 3. 決算概要**
4. 今期の見通し
5. 長期ビジョン及び企業価値向上施策
6. 当社グループに関するご案内



【連結損益計算書】



(百万円)

連結損益計算書	2025年5月期	2026年5月期	増減額	対前年比 (%)
売上高	64,486	64,149	△ 337	99.5%
売上総利益	8,777	8,800	23	100.2%
販売管理費	7,938	8,062	124	100.2%
営業利益	838	737	△ 101	87.9%
経常利益	909	877	△ 32	96.5%
税引前当期純利益	943	929	△ 14	98.5%
親会社に帰属する当期純利益	616	648	32	104.9%
EPS 一株当たり当期純利益 (円)	249.79	258.56	8.8	103.5%
ROE 自己資本当期純利益率 (%)	7.0	7.1	0.1	101.4%



【連結貸借対照表】



(百万円)

連結貸借対照表	2025年5月期		2026年5月期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
流動資産	21,766	79.0%	20,494	75.6%
現金・預金	5,698	20.7%	4,127	15.2%
売上債権	12,215	44.3%	12,117	44.7%
棚卸資産	3,149	11.4%	3,562	13.1%
固定資産	5,782	21.0%	6,594	24.3%
有形固定資産	3,378	12.3%	4,350	16.1%
投資有価証券	1,139	4.1%	1,093	4.0%
破産更生債権等	565	2.1%	11	0.0%
貸倒引当金	△ 565	-2.1%	△ 11	0.0%
総資産	27,549	100.0%	27,098	100.0%
流動負債	18,087	97.5%	17,323	97.7%
支払手形・買掛金	8,576	46.2%	8,208	46.3%
電子記録債務	7,774	41.9%	7,733	43.6%
固定負債	472	2.5%	405	2.3%
負債合計	18,560	100.0%	17,728	100.0%
純資産合計	8,988		9,360	
負債及び純資産合計	27,549		27,089	



【連結キャッシュフロー計算書】



(百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書	2025年5月期	2026年5月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	617	88
税引前当期純利益	943	929
売上債権の増減額（△は増加）	△ 604	76
棚卸資産の増減額（△は増加）	△ 219	△ 431
仕入債務の増減額（△は減少）	343	△ 315
法人税等の支払額	△ 492	△ 401
投資活動によるキャッシュ・フロー	19	△ 1,322
有形固定資産の取得による支出	△ 279	△ 1,291
無形固定資産の取得による支出	△ 31	△ 29
敷金及び保証金の差入による支出	△ 6	-
連結範囲の変更を伴う子会社取得による収入	339	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 240	△ 337
自己株式の取得	△ 65	△ 152
配当金の支払額	△ 174	△ 185
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	397	△ 1,571
現金及び現金同等物の期末残高	5,698	4,127



1. 2026年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
- 4. 今期の見通し**
5. 長期ビジョン及び企業価値向上施策
6. 当社グループに関するご案内



今期（2027年5月期）業績目標

売上高	697億9,400万円
営業利益	8億3,300万円
経常利益	8億5,500万円
当期純利益	5億5,300万円
配当金	年間配当65円



中期経営計画 最終年度となる 2027年5月期 業績目標

売上高	730億円
営業利益	9億5千万円
経常利益	10億円

2027年5月期経営目標	
売上高	730億円
営業利益	9.5億円
営業利益率	1.3%以上
経常利益	10億円

本計画最終年度となる「2027年5月期の経営目標」





「2027年5月期を最終年度とする現中期経営計画 業績目標」と
「今期業績目標（2027年5月期）」との差異について



背景・要因

- ▶ 医療機関における設備投資への慎重な姿勢
- ▶ 医療政策の変化
- ▶ 人件費や物流費などのコスト上昇
- ▶ 金利・為替動向の変化 など

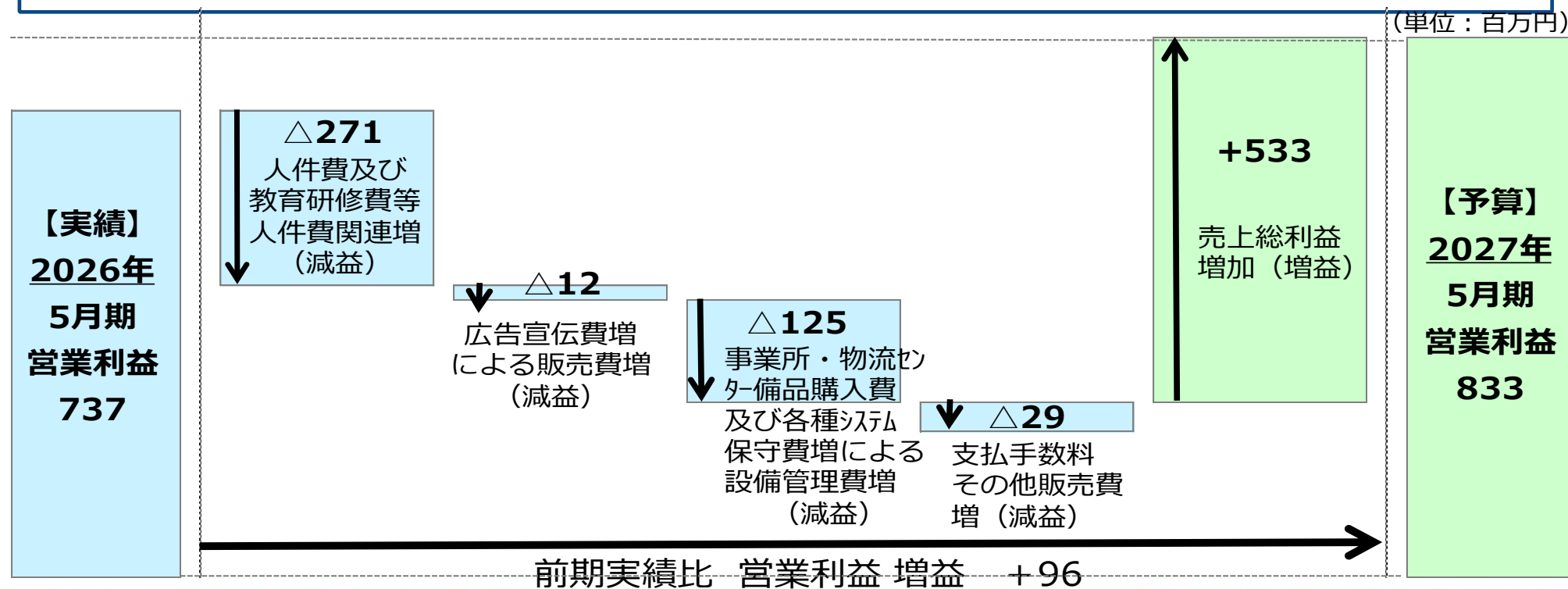


当社グループを取り巻く事業環境が当初の想定以上に厳しく推移



➤ 前期比 営業利益 増益の要因

- 最も重要となる人的資本（人件費、教育訓練、採用費等）への積極的投資
- 広告宣伝費や安定供給を踏まえた物流センター事業への投資
- これら投資を上回る、売上増加による売上総利益増 など





今期の重点施策 2027年5月期に向けて

- ① 人的資本経営の実践
- ② グループ間の連携と協業によるシナジー創出
- ③ 事業会社への継続的支援と成長加速
- ④ ESG経営を踏まえた安定供給と量的物流体制の構築
- ⑤ 内部統制とコンプライアンスへの継続的取り組み
- ⑥ グループの管理機能の更なる充実



今期目標達成のための重点施策

①人的資本経営の実践

- 各事業会社の人材要件を踏まえた効果的な採用活動の継続
- 事業会社間の異動（出向・転籍など）を見据えた人事関連制度の整備
- グループ全社のワークエンゲージメント向上に向けた施策の企画と実行

②グループ間の連携と協業によるシナジー創出

- 各事業会社間の販売チャネル活用や商材共有の促進
- ホールディングスと各事業会社の連携強化による業務効率化の促進
- 経営資源を成長分野へ重点配分





今期目標達成のための重点施策

③事業会社への継続的支援と成長加速

- ブレストスキャン拡販に向けた実務支援の強化
- シェアードサービスの拡充と標準化
- 経営資源の最適配分を通じた資本効率、収益性の向上



④ESG経営を踏まえた安定供給と量的物流体制の構築

- 物流構想プロジェクトを踏まえたグループ物流機能の検討
- グループBCM（事業継続マネジメント）体制の検討と構築
- 各事業会社の情報セキュリティの向上





今期目標達成のための重点施策

⑤内部統制とコンプライアンスへの継続的取り組み

- グループ行動規範の定着と実践の推進
- グループガバナンスの実効性向上
- 事業会社の中期経営計画策定による内部統制強化

⑥グループの管理機能の更なる充実

- ホールディングス組織機能の見直しと拡充の実行
- 迅速かつ柔軟に対応できる経営体制の再構築
- 社内外のグループリスクに対する迅速な対応





1. 2026年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 今期の見通し
- 5. 長期ビジョン及び企業価値向上施策**
6. 当社グループに関するご案内



【長期ビジョン①】



当社グループは、不確実で先が読みにくい時代が続くものと認識し、サステナブルな成長を実現するため、2030年に向け当社グループのありたい姿を見据えた、長期ビジョンを策定しています。

私たちがありたい姿を掲げ、当社グループとして価値観を共有し、また組織力の向上を図ることを目的としています。



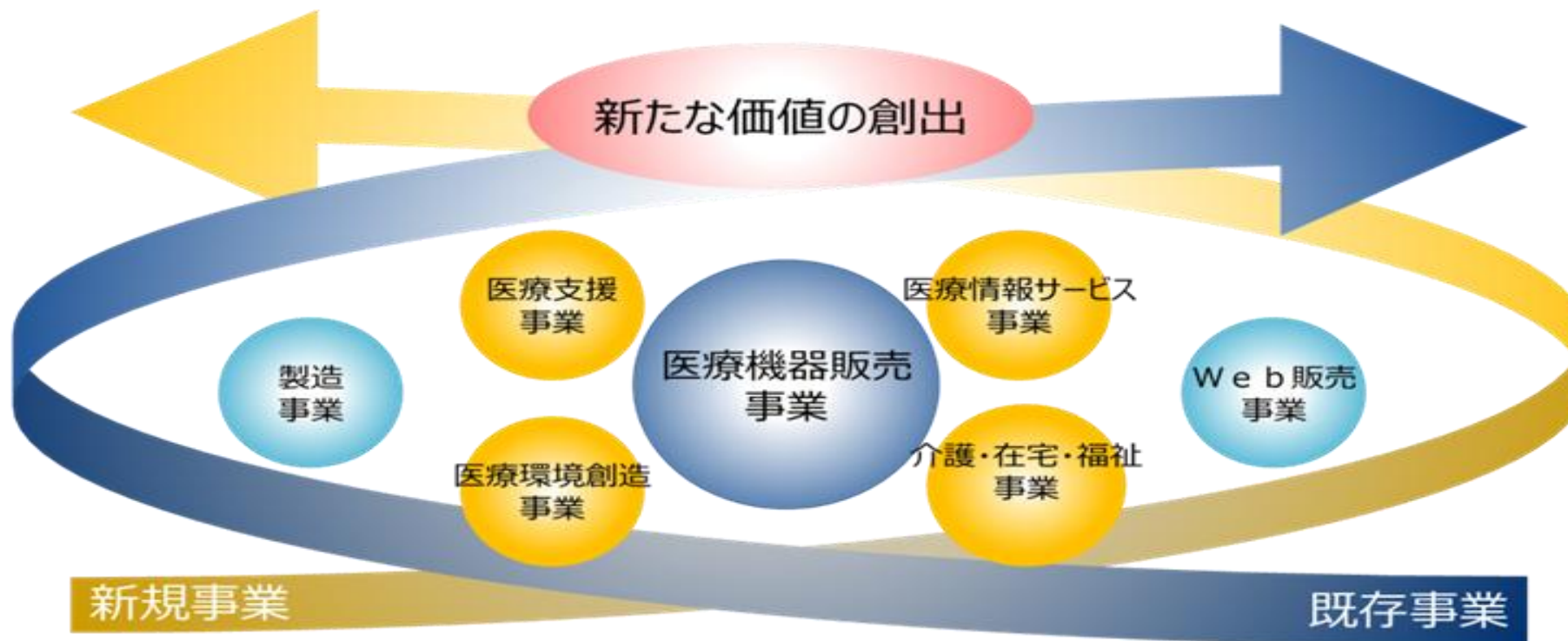
「マルチプライビジョン2030」

私たちは、持続的なヘルスケアサービスを提供し、予測困難な時代に対応するレジリエントカンパニーとして、サステナブルな社会に求められる新たな価値を創出し続け、中核事業と新規事業の掛け合わせ（マルチプライ）による加速度的な成長を目指します。



当社グループが目指す事業領域

長期ビジョン『マルチプライビジョン2030』では、中核事業との親和性が高い事業の拡充を図り、企業価値の持続的な成長を目指します。





当社グループの成長戦略の骨子

中核事業との連携を図りながら、新たな事業ポートフォリオの構築を通して、積極的な価値創出を目指します。





『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』について

当社グループは、資本コストを上回る資本収益性を確保するという観点から、中期経営計画の主要施策への取り組みを通じて、当社株主資本コスト 6.9%※ を超えるROE（自己資本当期純利益率）、そしてPBR（株価純資産倍率）の向上を図ります。

※当社株主資本コスト＝CAPM（資本資産価格モデル） 6.9%
＝リスクフリーレート2.5% + β値業界平均値0.8 ×（リスクプレミアム8%－リスクフリーレート2.5%）

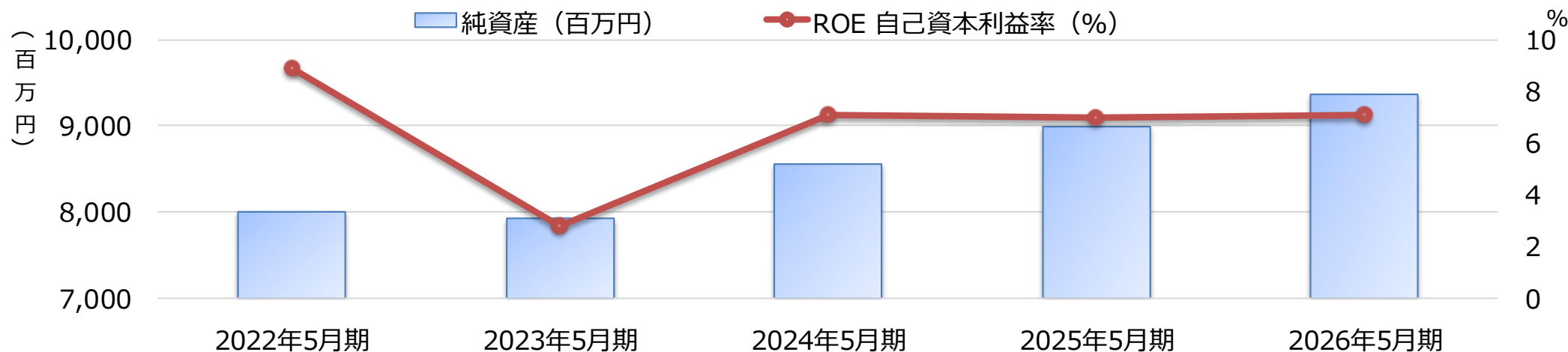
企業価値向上に向けた 経営指標

経営指標	目標
ROE（自己資本当期純利益率）	10%以上
PBR（株価純資産倍率）	1.0倍以上
配当性向（株主還元）	30%以上



【経営指標①】ROE（株主資本利益率）10%以上 堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

連結	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期
純資産（百万円）	8,005	7,924	8,556	8,988	9,360
ROE 自己資本利益率（%）	8.9	2.8	7.1	7.0	7.1

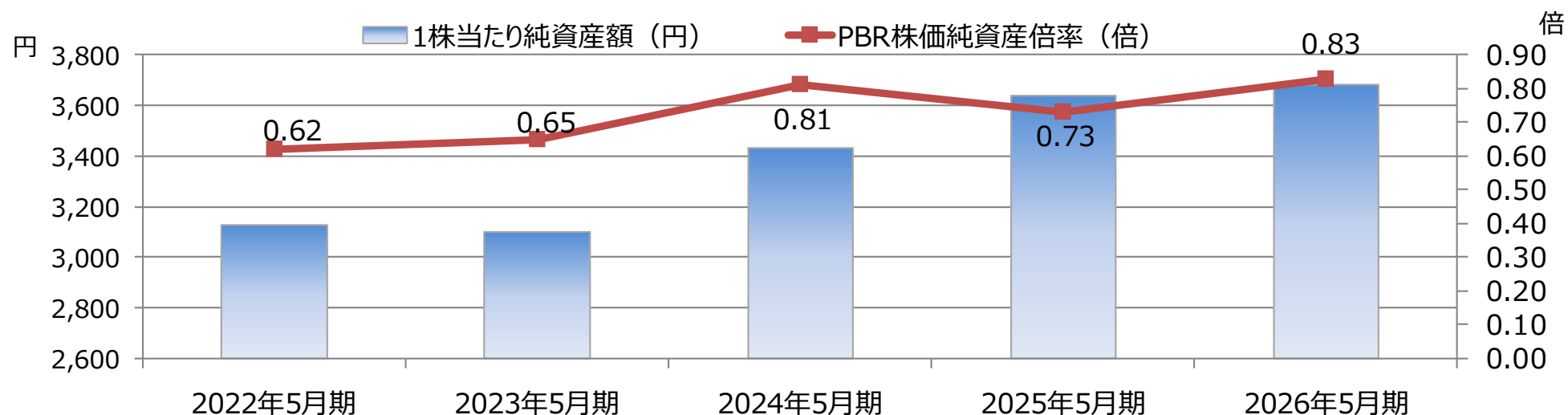




【経営指標②】PBR（株価純資産倍率）1.0倍以上 健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める

連結	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期
1株当たり純資産額（円）	3,126	3,097	3,429	3,640	3,680
PBR株価純資産倍率（倍）	0.62	0.65	0.81	0.73	0.83

※PBRは各年度末日株価で算出しております。





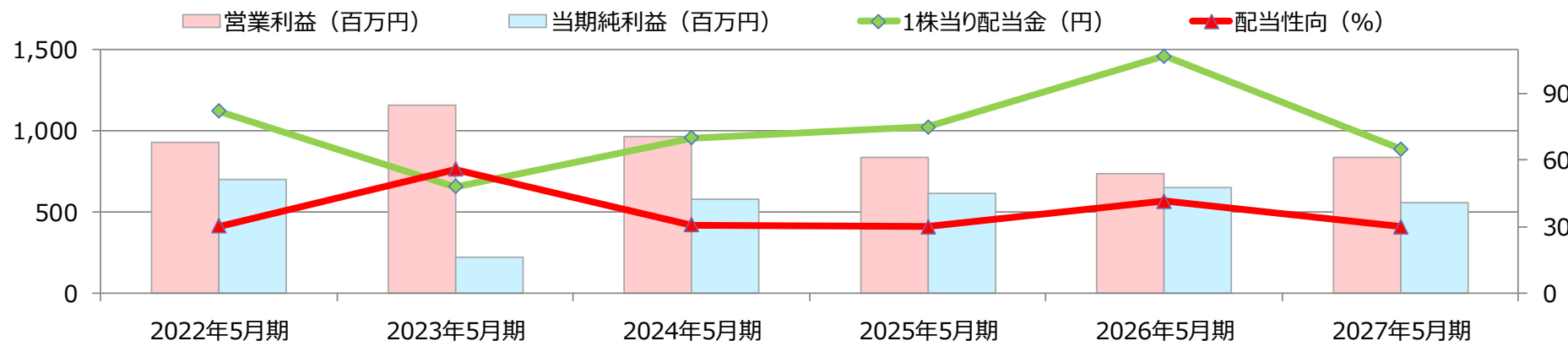
【経営指標③】配当性向30%以上 将来の事業展開と経営体質強化のために必要な 内部留保を確保しつつ安定かつ継続的な配当を実施

配当性向	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期	2027年5月期
1株当り配当金 (円)	82	48	70	75	107	65
営業利益 (百万円)	930	1,156	967	838	737	833
当期純利益 (百万円)	696	219	580	616	648	553
配当性向 (%)	30.1	55.9	30.7	30.0	41.4	30.0

※記念配当30円含む

※予想数値

営業利益
当期純利益
(百万円)



配当金(円)
配当性向(%)



中期的な成長戦略及び資本効率向上に関する考え方

成長投資

- ①成長投資を最優先
- ②財務健全性維持
- ③配当性向30%以上
- ④自己株式取得を機動的に検討

KPI

- ▶ ROE : 10%以上
- ▶ PBR : 1.0倍以上
- ▶ 資本コストを上回る投資判断
- ▶ 政策保有資産を継続的に見直し

成長投資

利益成長

PBR改善

企業価値向上

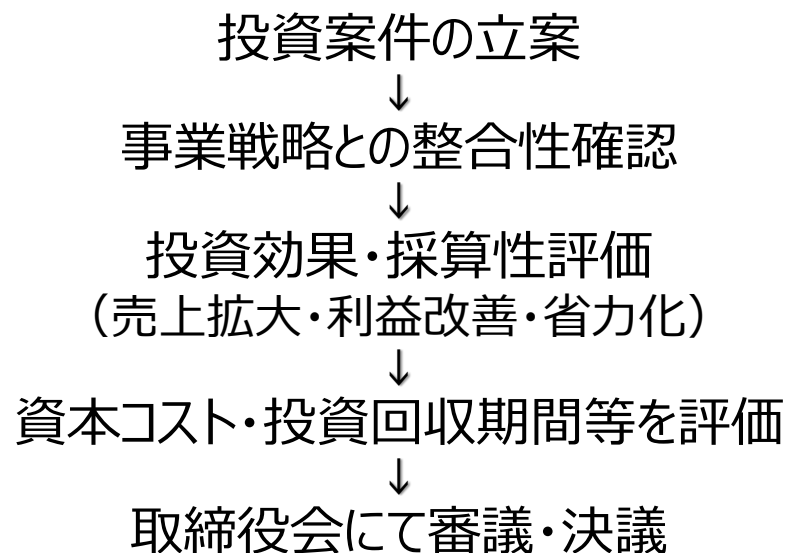




有形固定資産投資の意思決定プロセス及び投資回収方針

医療機器総合商社を中核とするグループとして、物流・営業・情報システム等のインフラ整備を中心に、収益性・成長性・資本効率を総合的に勘案し、投資判断を実施。

投資意思決定プロセス



投資回収方針

【主な確認項目】

- ▶ 売上・利益への寄与
- ▶ キャッシュ・フロー創出
- ▶ 業務効率化・省人化効果
- ▶ 当初計画との差異分析

※改善策等により経営資源を最適配分



収益性改善に向けた具体的な施策

重点施策	具体的な取組	期待効果
① 高付加価値ビジネス	▶ 高度医療機器の拡販 ▶ 専門領域商品の強化 ▶ SPD・保守サービスの拡大	売上総利益率向上
② グループシナジー	▶ グループ営業連携強化 ▶ 共同購買・物流集約 ▶ ホールディングス機能強化	固定費削減 生産性向上
③ 営業生産性向上	▶ 営業DX推進 ▶ 重点顧客深耕 ▶ 案件管理高度化	一人当たり利益向上
④ 業務改革（DX）	▶ 受発注・物流効率化 ▶ バックオフィス効率化 ▶ RPA・AI活用による省力化	販管費率改善
⑤ 成長投資	▶ 新規事業・M&A ▶ 医療DX分野への投資 ▶ 人的資本への投資	持続的な利益成長



株主還元政策及び政策保有資産に対する考え方

株主還元政策

安定的・継続的な株主還元を基本方針

配当性向30%を目安に、業績・財務基盤・成長投資とのバランスを考慮した利益還元を実施

成長投資とのバランスを重視

営業キャッシュフローを原資に、成長投資・人的資本投資・DX投資を優先しつつ株主還元を実施

政策保有資産に対する考え方

保有目的・経済合理性を毎年検証

政策保有株式は、取引関係・事業戦略・シナジーなど中長期的な企業価値向上への寄与を基準に保有

保有意義が低下した資産は縮減

資本効率や株価への影響も踏まえ、保有意義が認められない資産は売却を検討

資本効率向上への活用

売却資金は成長投資・M&A・株主還元など企業価値向上に資する用途へ配分

▶ 資本効率を重視し、成長投資と株主還元の最適なバランスにより企業価値向上を目指します。



企業価値向上に関する取締役会の取り組み

① 経営戦略・資本政策の監督

- ▶ 中期経営計画の進捗を継続的にモニタリング
- ▶ 成長投資・設備投資・M&A等の重要案件を審議
- ▶ 資本コストを意識した経営を推進
(ROE・PBR等の向上を重視)
- ▶ 配当政策・自己株取得等の株主還元を継続検討

② コーポレートガバナンスの強化

- ▶ 監査等委員会設置会社として監督機能を強化
- ▶ 独立社外取締役を中心とした客観的な監督体制
- ▶ 指名・報酬委員会による透明性の高い意思決定
- ▶ 毎年、取締役会実効性評価を実施し、改善を継続

③ グループ経営の高度化

- ▶ グループ経営会議による情報交換とシナジー創出
- ▶ グループ全体のリスク管理・内部統制を強化
- ▶ 人材育成・DX・物流・営業基盤への投資を推進
- ▶ ESG・コンプラを企業価値向上の重要事項に

④ 投資家との建設的な対話

- ▶ 決算説明会・IR面談を通じた積極的な対話
- ▶ 投資家からの意見を取締役会へフィードバック
- ▶ 開示内容の充実と透明性向上を継続
- ▶ 株主・投資家とのエンゲージメントを経営改善へ反映



1. 2026年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 今期の見通し
5. 長期ビジョン及び企業価値向上施策
- 6. 当社グループに関するご案内**



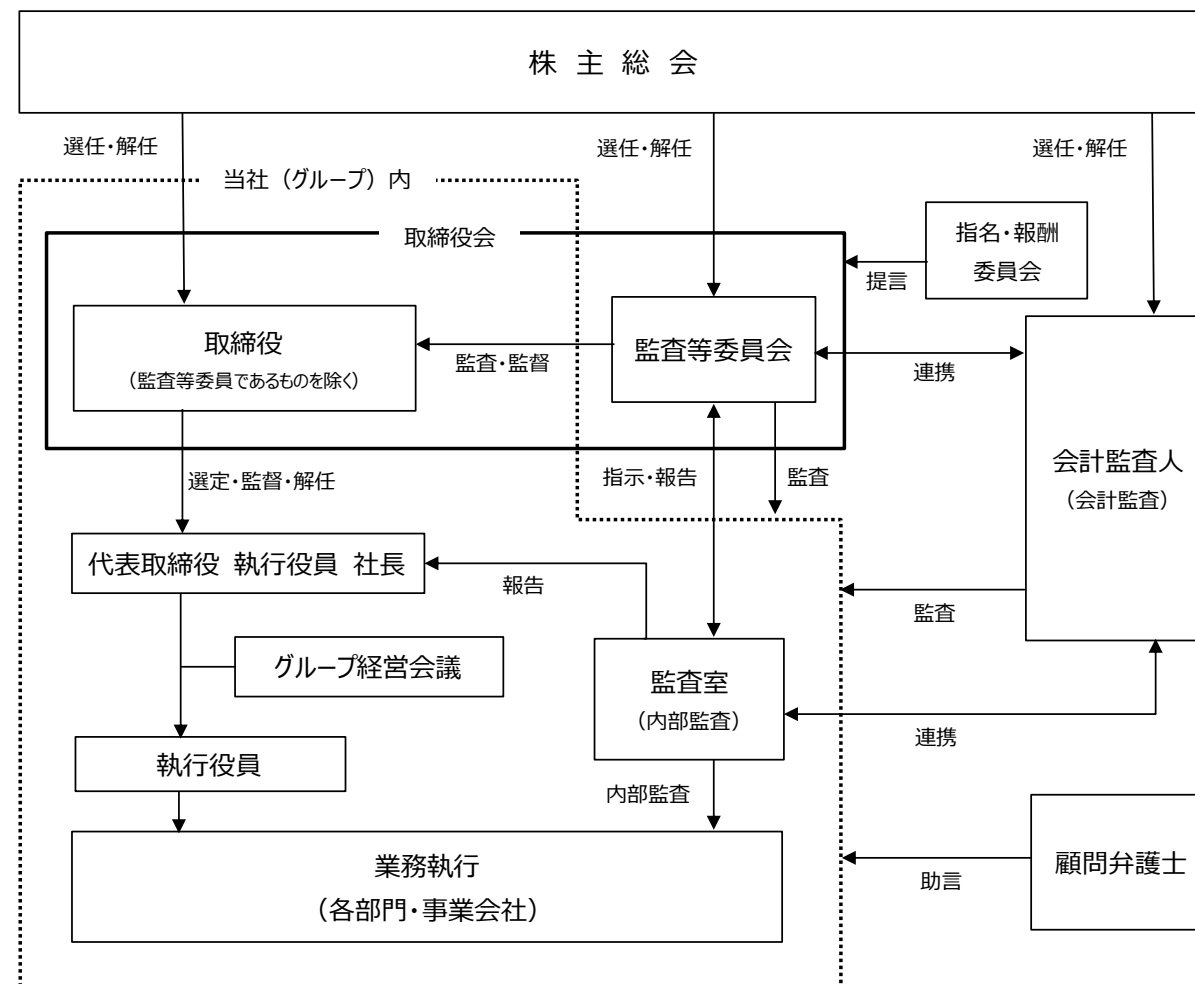
【当社グループに関するご案内】



コーポレートガバナンス体制

当社は、持続的な企業価値の向上と株主をはじめとするステークホルダーの皆様との信頼関係の構築を目的として、透明性・公正性・実効性の高いコーポレートガバナンス体制の構築・強化に取り組んでおります。

取締役会による適切な監督機能の発揮と迅速な意思決定を通じて、健全で効率的な企業経営を推進しています。





自己株式取得および処分

当社は、資本政策の柔軟性や機動性の確保、そして株主還元などを目的に自己株式の取得を実施いたしました。（2025年10月実施：47,500株取得）
これらは既に保有する自己株式と合算し、ヤマシタヘルスケアホールディングス社員持株会の対象社員へ譲渡制限付株式として付与いたしました。

- (1) 払込期日 : 2026年5月25日
- (2) 処分する株式 : 当社普通株式 53,500株
- (3) 処分価額総額 : 186,982,500円
- (4) 割当先 : ヤマシタヘルスケアホールディングス社員持株会
- (5) 譲渡制限期間 : 5年間

当社グループ社員は、譲渡制限付株式の受け取りに伴い、株主の皆様との一層の価値共有を進め、なお一層の企業価値向上へ邁進してまいります。



新SPDセンター構想進捗

当社グループの山下医科器械では、物流体制の強化と業務効率の飛躍的な向上を目指し、先進的なSPDセンターの整備を推進しています。現在、自動倉庫や搬送ロボット、倉庫管理システムなどのマテリアルハンドリング機器の選定も完了し、自動化による業務効率化と労働環境の改善を両立させる物流体制の着工に入りました。

この新センターでは、取扱物量の増加に対応できる高度な物流ラインを整備し、数多くのSPD※導入医療機関への多品種・少量供給にも柔軟に対応が可能としています。

現在、2026年度中の稼働開始を目指しており、本構想は同社が迎える創業100周年を契機とした「次の100年」に向けた中核投資となっています。



新SPDセンター完成予想図

※SPD（Supply Processing and Distribution）とは、医療機関に代わって医療材料の調達・在庫管理・供給を一括で担うサービスであり、病院の物品管理業務を効率化し、医療従事者が本来の医療業務に専念できる環境づくりを支援するものです。



【当社グループに関するご案内】



【女性の健康をサポートする革新的な検査機器】 ～乳がんの早期発見をサポートする「BreastScan」～

当社グループの**マイクロソニック株式会社**では、乳房疾患の早期発見を目的とした超音波診断装置「**BreastScan（ブレストスキャン）**」を製品化いたしました。本製品は、乳房を「**簡便**」「**低侵襲**」「**短時間**」で検査が可能な装置となっています。

日本では、乳がんの**罹患率・死亡者数は増加し、若年者罹患数も増加**しています。しかし、受診率（一般的にX線等を用いたスクリーニング検診）は依然として低く、「**時間が取れない**」「**痛い**」「**恥ずかしい**」といった、身体的・精神的なハードルが大きな課題となっています。



※薬事認証取得・届出済

『**がんは早期発見が重要**』です。

本製品は、これら**課題を低減**できる可能性があり、携帯性の高さから幅広いシーンでの活用が期待されています。当社グループでは「**BreastScan**」の普及を通じ、「**ブレストアウェアネス**」を意識づけることで、女性が自分自身の健康と向き合い、「**安心して生活できる社会の実現**」を目指してまいります。



トムス 新社屋完成

当社グループのトムスでは、業務拡大に伴い本社兼営業所を新設いたしました。従来の拠点では、事務スペースや保管機能の不足が課題となっていました。新社屋の建設によりこれらを解消し、より効率的な業務体制を実現いたしました。

新社屋は、ゆとりある事務スペースに加え、営業所機能を備え、商品の安定供給に対応可能な倉庫を併設しています。加えて、トラックの接車が可能な搬入出スペースを整備し、迅速かつ安全な物流体制が可能となりました。また、屋上には太陽光パネルを設置し、CO₂排出抑制といった環境課題への取り組みも進めています。同社は、本拠点の整備を通じて、サービスの向上や商品の安定供給に引き続き努めていきます。





健康経営優良法人2026認定

当社グループの山下医科器械では、このたび 経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人認定制度」において、5年連続で「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。

同社は、経営理念「地域医療に貢献する」を実践するための1つとして「健康経営方針」および「健康宣言」を掲げ、さまざまな取り組みを行っています。同社は人的資本を重要課題と捉え、従業員一人ひとりの健康が会社の基盤であるという認識のもと、従業員が心身とも健康で明朗で、達成感やモチベーションを高めながら持てる力を最大限発揮できる環境づくり、健康増進の実現に向け、様々な施策を推進しています。

当社グループでは、これら活動を通じ、全国健康保険協会（協会けんぽ）と連携をとり、指導をいただきながら、今後も従業員とともに健康経営への取り組みを進めてまいります。





【当社グループに関するご案内】



山下医科器械 今年創業100年

当社の前身、そして当社グループの旗艦企業となる山下医科器械株式会社は、2026年8月に創業100年を迎えます。これは、長きにわたりご愛顧いただいた医療機関の皆様をはじめ、取引メーカー、協力会社、地域社会の皆様等のおかげと社員一同深く感謝しております。

同社では、改めて「地域医療に貢献する」という私たちの使命を再確認し、次の100年に向けた新たなメッセージ「+ Sincerely 変わらない想い、共に未来へ」を掲げ、更なる一步を踏み出しています。

これからの100年も、私たちは地域社会の皆様の健康な生活に貢献し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。そして、総合医療機器商社といった枠を超え、地域医療を支えるパートナーとして、さらなる発展を目指してまいります。

今後とも皆様の温かいご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



創業者 山下忠次郎



【当社グループに関するご案内】



ESG経営への取り組み①



ESG基本方針を踏まえた当社の取り組み

当社グループの経営理念「地域のヘルスケアに貢献する」は、SDGsが目指す「誰ひとり取り残さない社会の実現」と強く結びついており、ESG基本方針をもって、経営推進を行っております。

〔Environment：環境に対する取り組み〕

「ガソリン・軽油の使用量削減」「電力使用量の削減」「省エネルギー車両への切り替え」について対前年比減を重点目標に設定し、2050年のゼロカーボンシティに貢献します。

〔Social：社会に対する取り組み〕

「人的資本経営の推進」を掲げ、人的資本への積極的な成長投資のもと、共に働く人々にとって魅力ある組織を目指します。

〔Governance：ガバナンスに対する取り組み〕

当社グループでは、「コンプライアンス遵守」「高度な倫理性」を重点課題として掲げ、役員および従業員が社会課題に取り組みます。



【当社グループに関するご案内】



株主優待制度

〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単位（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施しております。

〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。

（当社オリジナルクオカード）

保有株式 / 保有期間	1年未満	1年以上3年未満 ※1,3	3年以上 ※2,3
100～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当



※1. 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。

※2. 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。

※3. 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。

※証券会社の貸株サービスをご利用の株主様は、株主優待の対象から外れる場合がございますので、詳しくはご利用の証券会社にお尋ねください。



本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課

T E L : 092-402-2922 F A X : 092-402-2962

M A I L : legal@yamashitaika.co.jp

U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>



←当社からのメールの配信を希望される方はこちら

[三菱UFJ信託銀行メール配信サービス RIMSNET](#) よりご登録下さい。

登録後、当社が開示資料をホームページに掲載した場合、速やかにご案内が届きます。